



2022年3月11日

田渕海運株式会社
新居浜海運株式会社
村上秀造船株式会社
阪神内燃機工業株式会社
株式会社商船三井
株式会社商船三井内航

国内初のメタノールを燃料とする内航タンカー開発に関する戦略的提携に合意
～経済産業省、国土交通省の「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金
(内航船の革新的運航効率化実証事業)」に採択～

株式会社商船三井、株式会社商船三井内航、田渕海運株式会社、新居浜海運株式会社、村上秀造船株式会社、阪神内燃機工業株式会社（以下、「提携6社」）は、メタノールを船用燃料に使用するエンジン搭載の内航タンカー（以下、「本船」）の開発を通じて環境負荷低減を目指す戦略的提携に合意しました。

また、本船の開発に関しては経済産業省および国土交通省公募の「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金(内航船の革新的運航効率化実証事業)」(註1)の採択を受けることが決まり、2024年の竣工を目指しています。

メタノールは、現在の主たる船舶燃料である重油と比較し、メタノール燃焼時の硫黄酸化物(SO_x)排出量を最大99%、粒子状物質(PM)排出量を最大95%、窒素酸化物(NO_x)排出量を最大80%、二酸化炭素(CO₂)排出量を最大15%削減できます。常温常圧の液体燃料として極めて優れた特性を持っており、環境にやさしい燃料として商船三井グループで運航する4隻を含めて外航船で広がっていますが、内航船では本船が初めてになります。

また、メタノールは、CO₂と水素を原料として製造できることから、将来的には、CO₂の回収・輸送事業を活用し、洋上風力や波力など再生可能資源に由来する電力を利用した水素と合成して製造することも可能になります。そのメタノールを燃料として再利用すれば、環境循環型のビジネスモデルを構築でき、排出される正味のCO₂を削減できます。

提携6社は、それぞれが強みを持つ技術、ノウハウ、ネットワーク(註2)を集結して、低・脱炭素化社会の実現を目指します。

(註1)

運航計画や荷役の最適化等のソフト面の対策や、当該対策を前提とした省エネルギー船型、高効率推進システム、荷役効率化設備等のハード面の対策の導入による輸送全体の最適化を目指した実証事業の実施に要する経費を補助するもの

(註2)

本業務提携における各社役割



<各社概要>

株式会社商船三井

設立	1884年5月
本社所在地	東京都港区虎ノ門2丁目1番1号
代表者	橋本 剛
事業内容	海運業など

株式会社商船三井内航

設立	1953年12月22日
本社所在地	東京都港区虎ノ門2丁目1番1号
代表者	小林 洋
事業内容	海上運送事業

田淵海運株式会社

設立	1935年10月
本社所在地	大阪府大阪市西区安治川2丁目2番5号
代表者	田淵 訓生
事業内容	海運業など

新居浜海運株式会社

設立	1948年8月
本社所在地	愛媛県新居浜市西原町1丁目4番18号
代表者	森賀 修一
事業内容	海上運送事業

村上秀造船株式会社

設立	1963年11月
本社所在地	愛媛県今治市伯方町木浦甲 4641-2
代表者	村上 英治
事業内容	船舶建造、修理など

阪神内燃機工業株式会社

設立	1918年1月
本社所在地	兵庫県神戸市中央区海岸通8番地 神港ビル4階
代表者	木下 和彦
事業内容	船舶用エンジン製造など

以上